

園名	あそか保育園
日時	令和7年1月

1, 活動テーマ

<テーマ>

3歳児・・・「音の探検家になろう」～身近な様々な音を発見する～

<テーマ設定理由>

・以前は保育士が環境を構成した中で音探しをしたので、今回は子ども達自身が音探しをし、様々な発見ができるような活動内容にした。

2, 活動スケジュール

- ・音の探検家について話をし木の小槌を配る。
- ・部屋の中の様々な物を木の小槌を使って音を鳴らす。

3, 活動のために準備した素材や道具、環境設定

・身の回りの音を発見する時に手で叩いて音を鳴らす方法があるが、音が響きやすく今までに使ったことのある道具を使おうと考え、木の小槌を使用した。・木の小槌（人数分）

4, 探究活動の実践

<活動内容>

- ・保育士から「音の探検家」についての話を聞き、遊びへの興味を膨らませる。
- ・木の小槌で叩いてはいけない物や場所について話を聞く。（オルガン、窓、電気機器など）
- ・部屋にある椅子やテーブル、壁、リュック、箱、棚、ジャンパーなどを叩いて音を楽しんだり、違いに気付いたりする。
- ・皆でどのような音を見つけたのかを振り返る。

<木の小槌で身の回りの物を叩き、音を鳴らす>

- ・始めはテーブルや椅子、棚などの音が大きく出そうな物を叩いて音を鳴らしていた。
- ・その後、リュックや箱、絵本、水の入ったペットボトルなどの様々な物を叩き、耳を近づけて音を聴いていた。

子どもの声

「先生来て！こんな音するよ」

「おもしろい音がする」

「トントンだってさ」

保育士の声

「先生にも聴かせてくれる？」

「トントンって言ってるね」



<活動の振り返り>

- ・どのような音がどこから聴こえてきたのかを子ども達に聞くと「リュックがカサカサ鳴ってた」「棚がトントン鳴ってた」「あそこがカンカンって鳴ってた」などと聴こえた音を言葉で表していた。



5, 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

・子ども達に「今日は音の探検家になろう」とイメージが湧きやすい言葉掛けをした。探検家は化石や宝物を探したりするが、皆は音を探すことを伝えると興味が膨らみ、リュックやテーブル、椅子、ドアの取っ手、水の入ったペットボトル、箱、上履きなどを自分で探して音を鳴らして楽しんでた。以前は保育士が環境をデザイン（音の出る物を用意）したが、今回は「自分で見つけた！」という発見や面白さがあり、「先生、見つけたよ」「この音聴いて」という声が多く聞かれたように感じる。